

### 3.3.5 基本計画

基本方針を踏まえ、3-3-2節『自然条件調査および解析』から得られた結果をもとに、橋梁位置、橋長、支間構成および橋面基準高を決定する。

#### 1) 橋梁計画

##### (1) 橋梁位置

橋梁位置は、要請された地点における地形条件、地質条件、河川条件（水文条件）、施工条件を総合的に判断して決定する。本橋梁位置は特に次の点に留意して計画した。結果は一般計画図として別冊図面集に収録、また、表3.3.5-7 橋梁略図一覧表に記載。

- ・ 橋長を極力短くすることが可能な位置
- ・ 家屋、電柱、水道管等の建造物の移設、撤去を極力避けることができる位置
- ・ 用地確保が可能で、用地買収を必要としない位置
- ・ 附帯工を含めた橋梁工事費が経済的となる位置
- ・ 河川と橋軸の交差角が大きく、極力直橋となる位置

##### (2) 橋長および支間長の決定

- － 河川区域内に設置する橋台および橋脚位置は、計画高水位以下の洪水の流下を妨げず、河川に支障を及ぼさないよう計画されなければならない。
- － 橋長を決定する橋台は、河川堤防護岸と計画高水位との交点より後方に設置するのが原則である。しかし、対象橋梁建設地点の河川堤防は整備されておらず、計画高水位も明らかではない。
- － 支間長は、河川の状況、地形の状況等を考慮し、洪水のみならず河川流下物の流下を妨げないように決定すべきである。

従って、本調査では現地調査により得られた河川線形、洪水位・平水位、流速・流量、流下物等の河川条件ならびに地質条件、地形条件、施工条件等を総合的に判断して橋長、支間構成を決定した。ただし、本計画では、鋼桁の形式として下路式ポニートラス橋を採用し、人力架設等を考慮して最大支間長を25mとした。

・橋長の決定

上記以外に、本計画における橋長は特に以下に示す事項に留意して決定した。

- －河川本流上の場合、洪水時の流量に対して橋台間（高水敷、低水敷）の川幅が十分に確保出来、洪水位に対して桁下余裕がもてることとする。
- －橋長を必要以上に長くせず経済的な橋長とする。
- －洪水が橋台部にあたりフーチングの洗掘が生じ転倒、流失しない位置とする。

・支間構成の決定

決定した橋長に対し当該河川で考えられる可能な支間構成は15m、20m、25mの組合せ橋長とする。(図3.3.5-1)

計画橋長に対する支間割については、基本支間長15m、20m、25mの組合せより下記のように決定する。

橋長に対する支間割り

橋 長 (m)	支間割り (m)
20×5	20
25×12	25
30×6	15+15
35×2	20+15
40×8	20+20
45×6	15+15+15
50×7	25+25
60×5	20+20+20
65×5	20+25+20
75×7	25+25+25
80×4	20+20+20+20
90×4	20+25+25+20
100×6	25+25+25+25
120×1	20+20+20+20+20+20
125×1	25+25+25+25+25
130×1	20+20+25+25+20+20
<hr/>	
4,395m (80橋)	

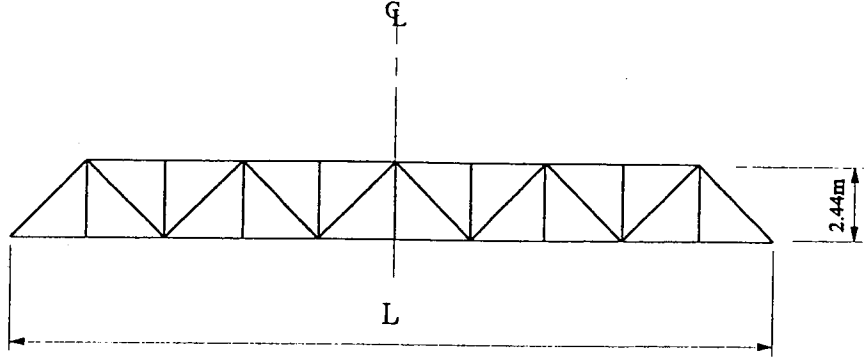
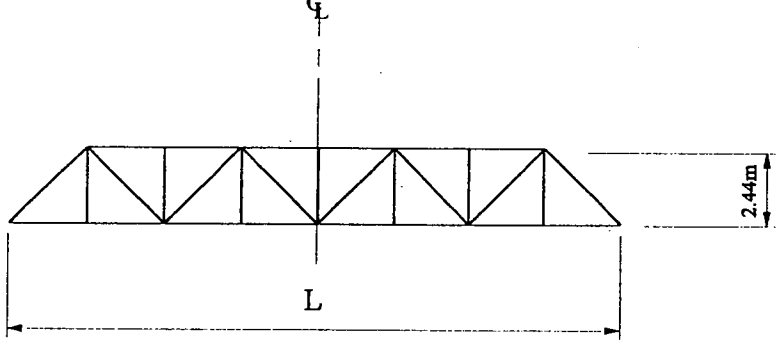
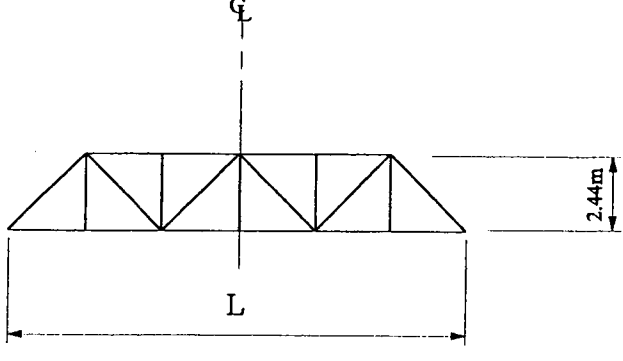
支間名称	一般構造図
支間長 $L = 25\text{ m}$	 <p>支間長 <math>L = 10 \times 2.438 = 24.384\text{ m}</math> (25mスパン)</p>
支間長 $L = 20\text{ m}$	 <p>支間長 <math>L = 8 \times 2.438 = 19.507\text{ m}</math> (20mスパン)</p>
支間長 $L = 15\text{ m}$	 <p>支間長 <math>L = 6 \times 2.438 = 14.630\text{ m}</math> (15mスパン)</p>

図3.3.5-1 上部工標準支間

### (3) 橋梁橋面計画高の決定

橋梁橋面計画高は、毎年生ずる洪水位（N.H.W.L）を基準として、これに桁下余裕高（航路高+構造高）を加えた高さとする。

本橋梁計画に使用した計画洪水位は、現地での聞き取り調査および現況目視観察により得れた既往の最高水位から決定したものであり、水文解析結果から最終的に検証されるものである。別冊、水文解析報告書、参照。

表3.3.2-2に本計画に採用した橋長、支間長および橋梁橋面計画高等を示す。

## 2) 上部工の基本設計

基本方針、橋梁計画および上部工構造形式の検討に述べた内容を踏まえた上部工の設計成果を資料編 に示す。

### 設計条件

#### 3.3.3 設計条件の検討に示す。

前回施工時の橋梁について、今回30橋を選び施工結果の調査をした。その結果を踏まえて、構造上の改善点を以下に示す。

- 1) 高欄（手摺）の取付け（橋からの転落防止措置として）
- 2) デッキ両端に車輪脱落防止をつける。
- 3) デッキパネル取付けボルトの取付改善（横桁への取付けに高力ボルト使用）
- 4) 下部工に沓座高さの確保（ジャッキダウン作業を行いやすいようにする）
- 5) 高力ボルト用の孔径を拡大（24.5φ→25φ）（架設時の孔を合わせやすいようにする）
- 6) 下弦材へ水抜き孔を設ける（上・下弦材で材質が異なるので取り違えないように区別をする）
- 7) メッキ時の空気抜き孔の確保（デッキパネル）

上部工詳細図を図3.3.5-2～7に示す。

上部工構造設計の照査結果は下記の項目について照査した。

1. 部材応力度
2. たわみ量（振動）

設計結果

表 3.3.5-1 上部工設計計算結果

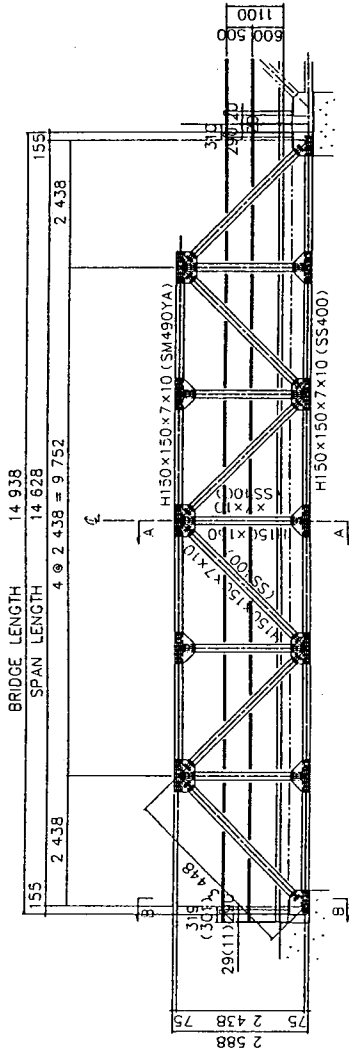
		上 弦 材	下 弦 材	斜 材	垂 直 材
断 面		H-150×150×7/10	H-150×150×7/10	H-150×150×7/10	H-150×150×7/10
材 質		SM490Y	SS400	SS400	SS400
諸 元	断面 2 次半径 (cm)	$i_x = 3.77$ $i_y = 6.40$	3.77	3.77	3.77
	断 面 積 (cm <sup>2</sup> )	39.65	39.65	39.65	39.65
部 材 力 (ton)		-43.3	43.3	26.1	8.1
軸 応 力 度	応 力 度 (kg/cm <sup>2</sup> )	1,108	1,092	658	204
	許 容 応 力 度 (kg/cm <sup>2</sup> )	1,271	1,375	882	1,375
た わ み	た わ み	活荷重たわみ $\delta_v = 20\text{mm} (= L/1504)$ 死荷重たわみ $\delta_d = 8\text{mm}$			
	許 容 た わ み	活荷重に対して $\delta_a = 42\text{mm} (= L/600)$			

上部工構造詳細図

設計計算結果を基に設計した上部工構造図および詳細図を図3.3.5-2～7に示す。

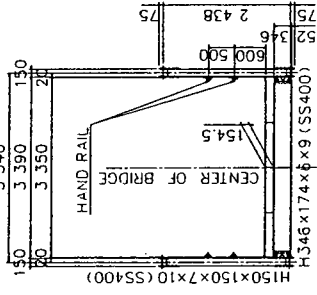
GENERAL ARRANGEMENT  
SCALE 1:50

SIDE VIEW

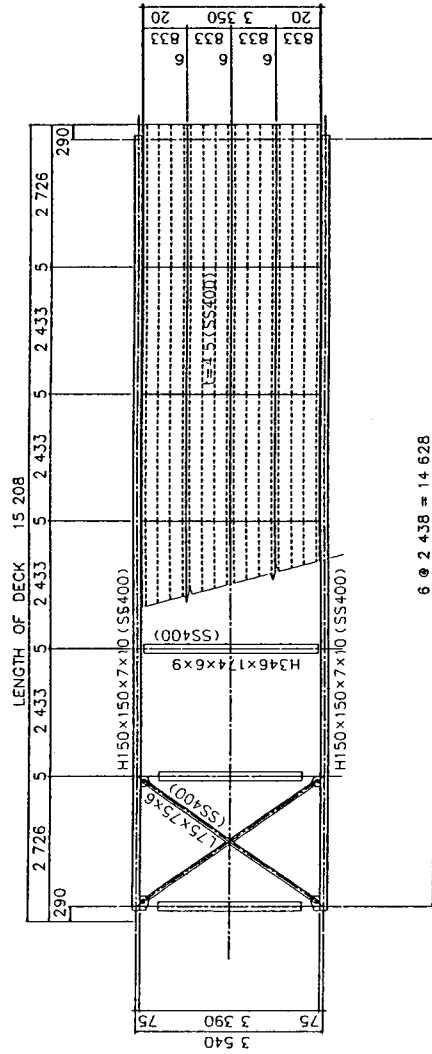


CROSS SECTION

A-A



PLAN



B-B

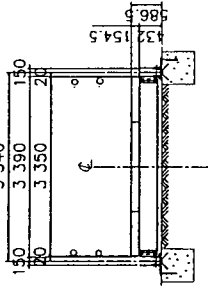


図 3.3.5-2 上部工構造図 (15m径間用)

GENERAL ARRANGEMENT  
SCALE 1:50

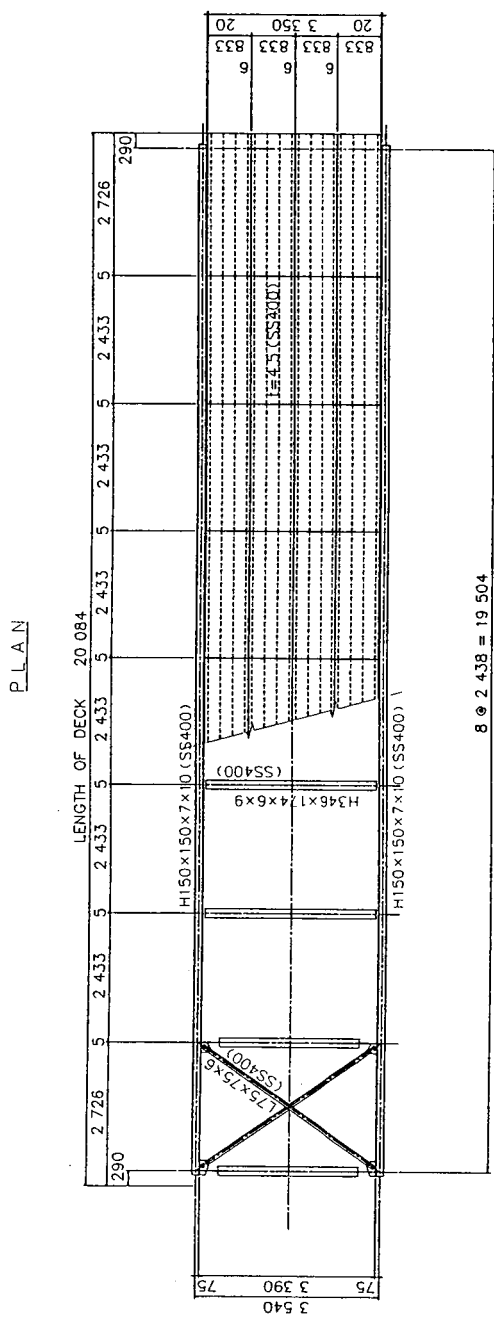
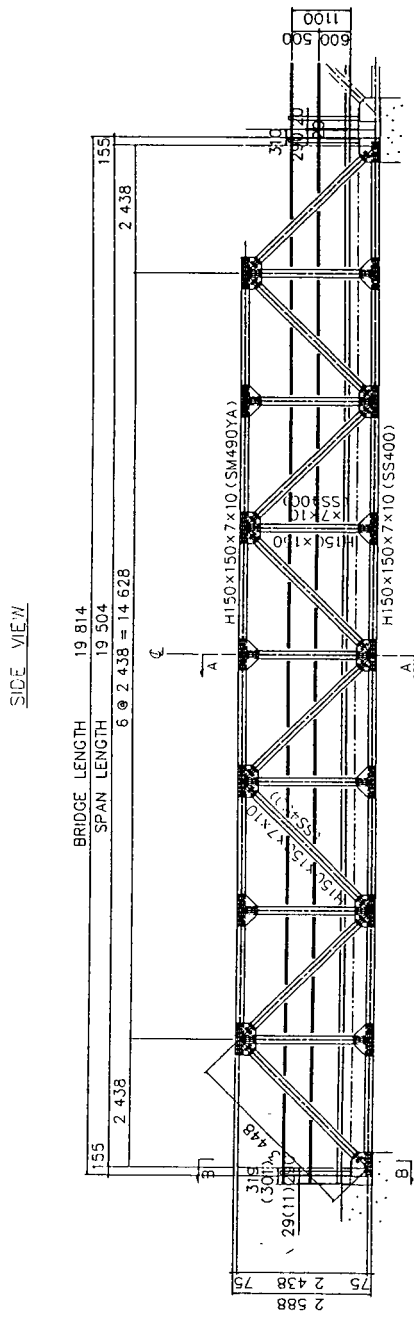
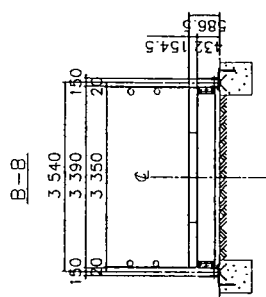
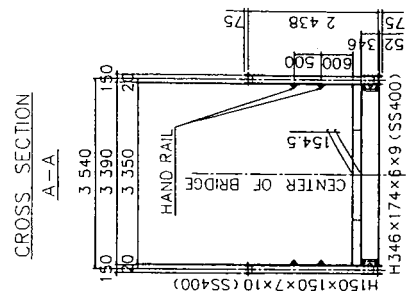
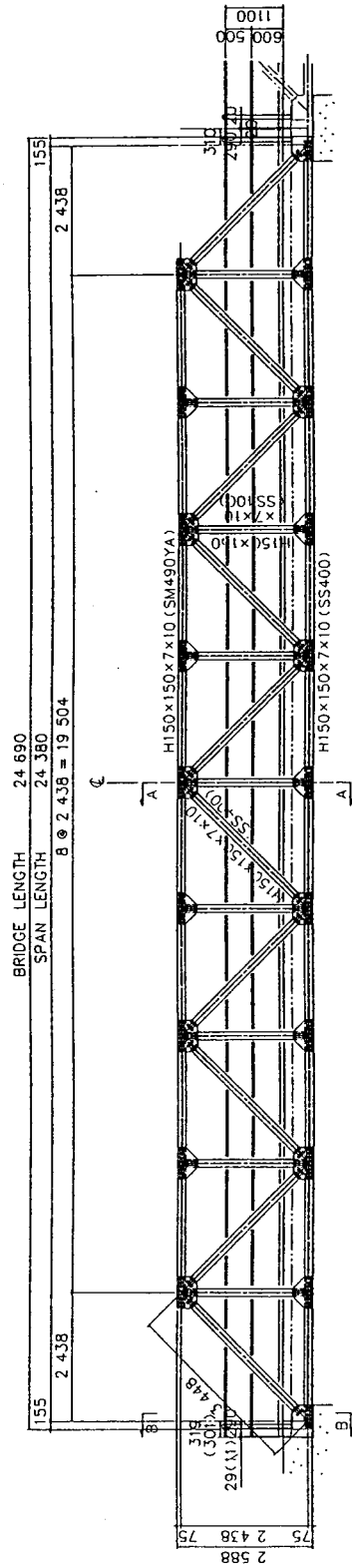


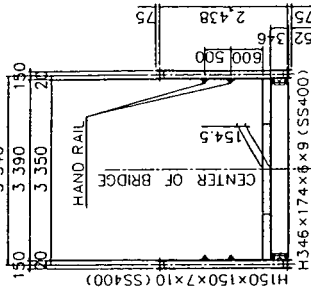
図 3.3.5-3 上部構造図 (20m 径間用)

GENERAL ARRANGEMENT  
SCALE 1:50

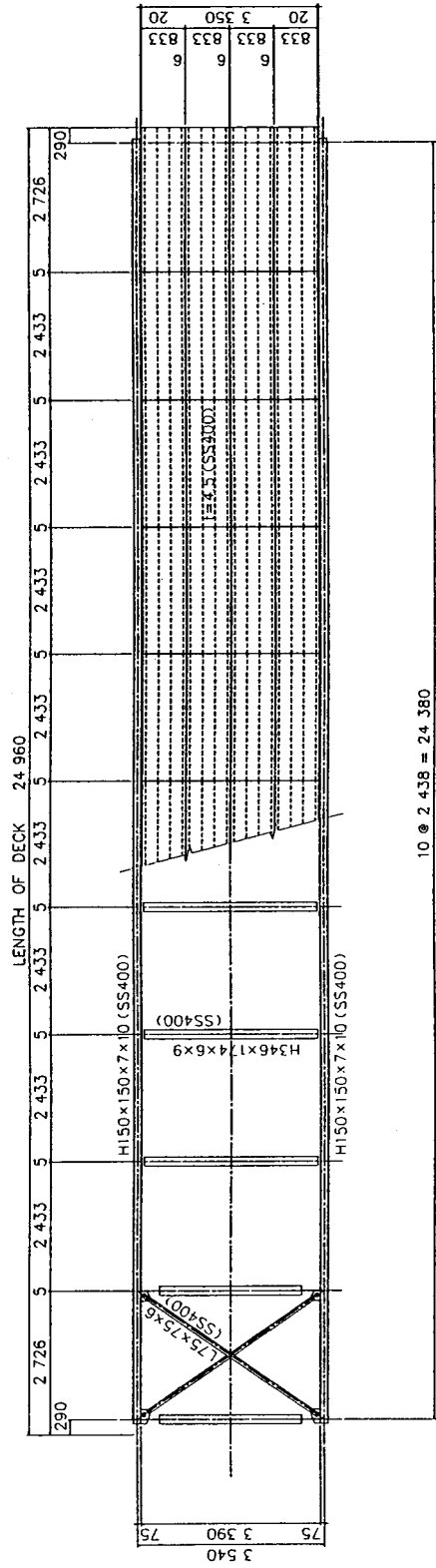
SIDE VIEW



CROSS SECTION  
A-A



PLAN



B-B

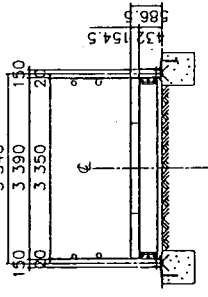
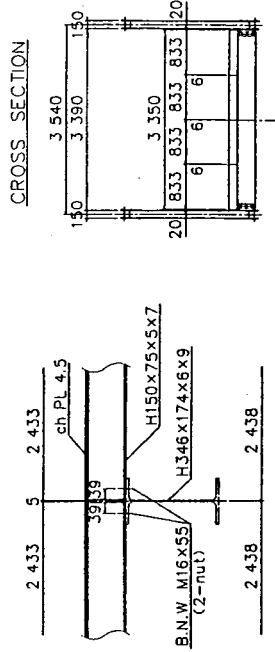
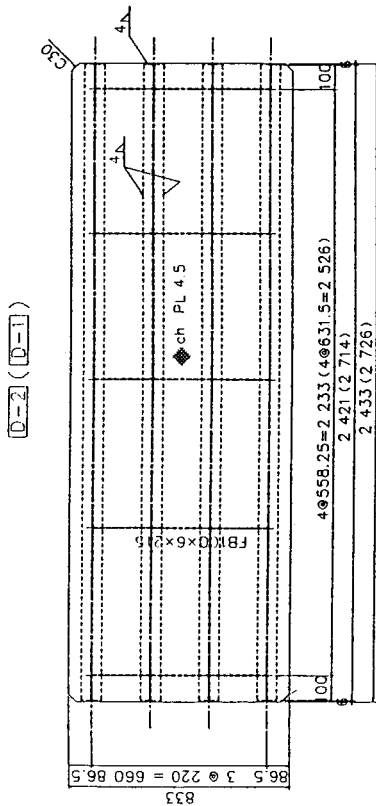
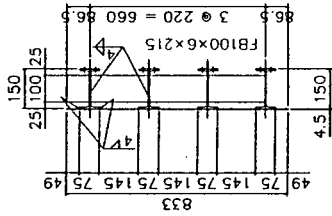
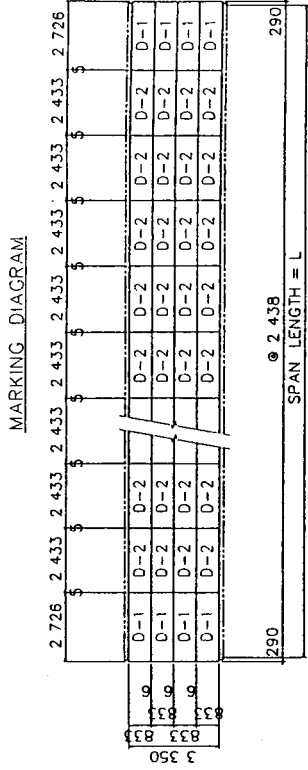


図 3.3.5-4 上部工構造図 (25m 径間用)

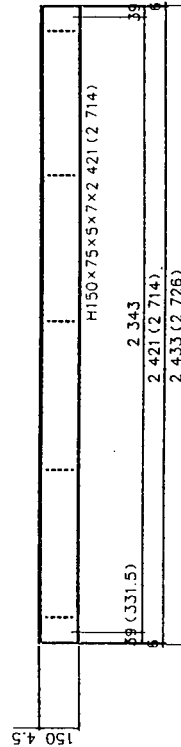
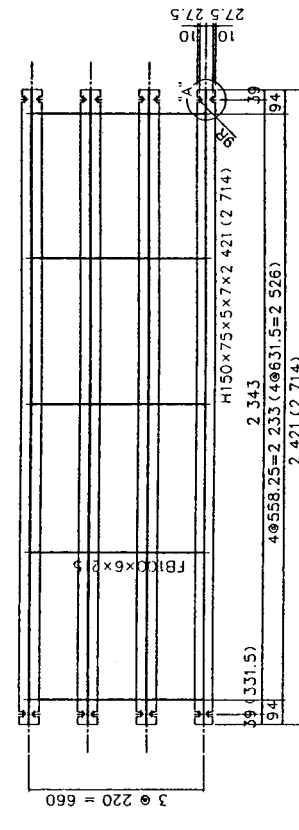
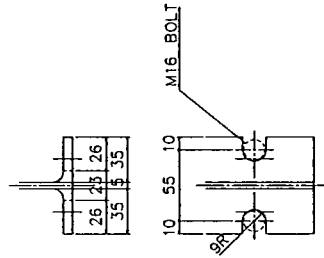




DECK PLATE  
SCALE 1:10



DETAIL OF "A" 1:2



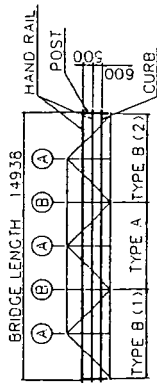
NOTE  
1. MATERIAL STANDARD NOT DESCRIBED  
IS JIS G3101 S5400

図 3.3.5-6 床版構造図

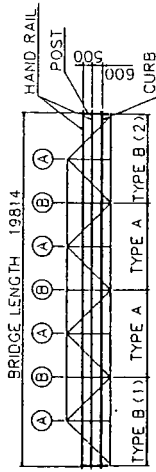
HAND RAIL AND CURB  
SCALE 1:20

ARRANGEMENT

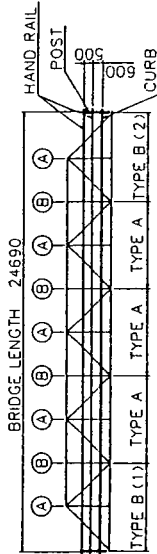
L=15m



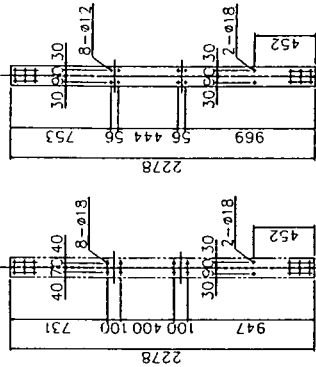
L=20m



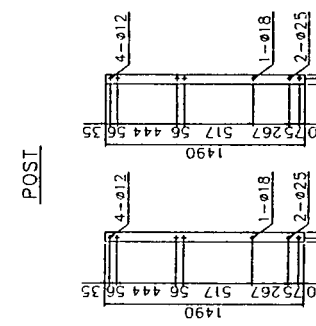
L=25m



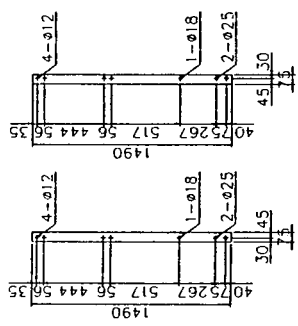
Ⓐ HANGER  
H150x150x7x10



Ⓑ HANGER  
H150x150x7x10



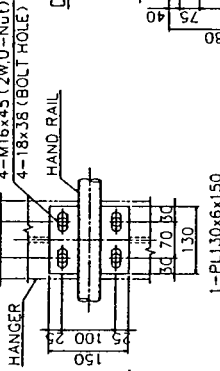
POST



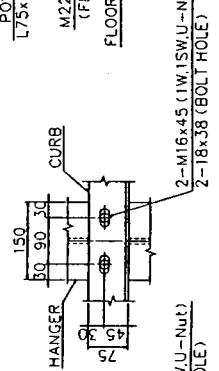
1-L75x75x6x1490 1-L75x75x6x1490

DETAIL OF "C" S=1:5

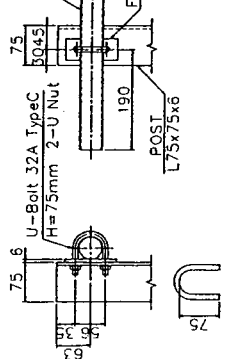
DETAIL OF "B" S=1:5



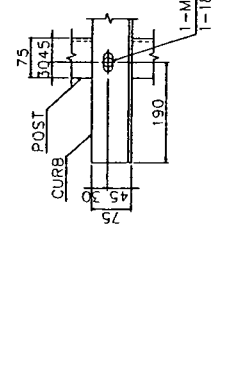
DETAIL OF "F" S=1:5



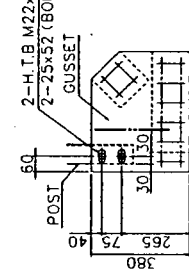
DETAIL OF "A" S=1:5



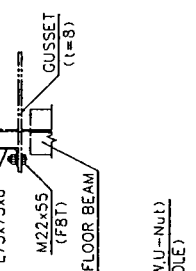
DETAIL OF "D" S=1:5



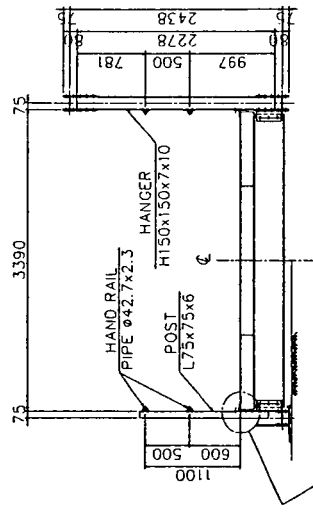
DETAIL OF "G" S=1:10



DETAIL OF "E" S=1:5



CROSS SECTION S=1:30



NOTE  
MATERIAL GRADE SHALL  
BE JIS G3101 SS400 OR  
EQUIVALENT, UNLESS  
OTHERWISE NOTED.

図 3.3.5-7 高欄・脱輪防止構造図

### 3) 下部工の基本計画

基本方針、橋梁計画および下部工構造形式の検討に述べた内容を踏まえて下部工の設計に関して、土質調査結果に基づき計画する。資料編に示す。

#### 橋 台：

橋台形式は、L G E Dの標準設計である逆T式橋台を基本にウイングを延ばし、路肩欠落を防ぐ構造とする。また、取付部の段差を防ぐために踏掛け板の設置を検討する。

#### 橋 脚：

橋脚形式は、L G E Dの標準設計である2形式（パイルベント橋脚、フーチング式2柱橋脚）を使用する。

適用別として、

- (1) L.W.L.の水深（1.2m以上）が深く、乾期施工が困難な場合にはパイルベント橋脚を適用する。
- (2) L.W.L.の水深が浅く、転流工または土俵締切り、乾期施工が可能な場合にはフーチング式2柱橋脚を適用する。

#### 基礎工：

基礎杭は既成コンクリート杭（□-300×300×L）を使用する。また、パイルベント基礎杭は現場施工杭（φ700×根入れ）とする。

計画において無償資金協力により調達される材料を表3.3.5-2に示す。また、橋梁上部工鋼材の内訳を表3.3.5-3に示す。

表 3.3.5-2 調 達 材 料 総 括 表 （80橋）

工 種	品 目		数 量 (t)
上 部 工	鋼 材	H 形 鋼	2,284.291
		鋼 板	246.318
		高 力 ボ ル ト	217.917
		そ の 他 の 鋼 材	786.791
		計	3,535.317
鋼桁架設用工具（表4.1.2-2および表4.1.2-3参照）			

## (1) 橋梁上部工用鋼材

表 3.3.5-3 上部工鋼材の内訳

## ① H形鋼およびL形鋼

名 称	規 格 寸 法	鋼 重 ( t )
主構用H形鋼	H-150×150×7×10 (SM490YA)	212.094
	H-150×150×7×10 (SS400)	821.052
横桁用H形鋼	H-346×174×6×9 (SS400)	268.553
横構用L形鋼	L-75×75×6 (SS400)	90.782
床用H形鋼	H-150×75×5×7 (SS400)	982.592

## ② 鋼 板

名 称	規 格 寸 法	鋼 重 ( t )
主構用ガゼット	t = 8 (SS400)	171.874
横 桁 用 鋼 板	t = 12 (SS400)	13.067
	t = 8 (SS400)	3.895
	t = 6 (SS400)	35.334
横 構 用 鋼 板	t = 8 (SS400)	0.205
床 用 鋼 板 (縞鋼板)	t = 4.5	542.160
支 承 用 鋼 板	t = 22、t = 12、t = 8	17.425
高 欄 用 鋼 板	t = 6	4.518

## ③ その他の鋼材

名 称	規 格 寸 法	鋼 重 ( t )
丸 棒	φ16	1.230
高 力 ボ ル ト	M22、M16 (F 8 T) 垂鉛メッキ仕様	217.917
U ボ ル ト	32C	0.879
ボルト/アンカーボルト	M16/M24	6.181
パイプ	φ42.7 (STK400)	40.079
平 鋼	100×6	105.480

表 3.3.5-4 簡易橋鋼重総括表 (80橋)

支間長 (m)	15 (14.938m)	20 (19.814m)	25 (24.690m)
本体	3,418kg	4,688	5,954
ガセツト	1,199	1,620	2,044
横桁	1,181	1,509	1,839
横構	110	110	110
鋼床版	5,696	7,529	9,361
支承	105	105	105
高欄	209	262	315
車輪脱落防止	211	279	347
全重量 (m当たり)	12,129kg (0.812kg/m)	16,102kg (0.813kg/m)	20,075kg (0.813kg/m)
連数 (延長m)	32 (480m)	82 (1,640m)	91 (2,275m)
鋼重 (ton)	388.128ton	1,320.364ton	1,826.825ton
総鋼重 (ton)	3,535.317ton (4,395m)		

表 3.3.5-5 橋梁建設工事数量総括表

工 種		単位	フェーズ I	フェーズ II	計			
橋 梁 数 量		橋	35	45	80			
上 部 工	15m径間簡易橋		径間	13 ( 195m)	19( 285m)	32 ( 480m)		
	20m径間簡易橋		径間	41 ( 820m)	41( 820m)	82 (1640m)		
	25m径間簡易橋		径間	44 (1100m)	47(1175m)	91 (2275m)		
	計		径間	98 (2115m)	107(2280m)	205 (4395m)		
	鋼材輸送重量		t	1,701.159	1,834.158	3,535.317		
	架設重量		t	1,698.069	1,830.831	3,528.900		
下 部 工	橋 台 工 (逆 T 壁式)	H = 4.5m 以下		基	4	5	9	
		H = 4.6~6.0m		基	57	70	127	
		H = 6.1m ~		基	9	15	24	
		計		基	70	90	160	
	橋 脚	フーチング 柱 式 橋 脚	H = 5.0~7.5m		基	23	16	39
			H = 7.6~9.5m		基	9	6	15
			H = 9.6~13.0m		基	0	4	4
	工	パイルベント橋脚		基	31	36	67	
		計		基	63	62	125	
	基礎杭工	プレキャスト杭		本	1,119	1,332	2,451	
				m	12,237	13,943	26,160	
		場所打杭		本	96	102	198	
				m	1,235	1,358	2,593	
	付 帯 工	取付道路工		m	1,350	1,770	3,120	
護 岸 工		m <sup>2</sup>	3,822	4,990	8,812			

4) 上部工資機材数量

本計画で調達される上部工（鋼製簡易橋）の資材数量総括表を表3.3.5-6に示す。

表 3.3.5-6 上部工（鋼製簡易橋）資材数量総括表 (単位：t)

資 材			フェーズ I	フェーズ II	合 計	用 途
品 名	規 格	寸 法				
H型鋼	SM490Y	150×150×7×10	102.240	109.854	212.094	トラス弦材
	SS400	150×75×5×7	472.768	509.824	982.592	床版縦桁
		364×170×6×9	129.145	139.408	268.553	トラス横桁
		150×150×7×10	395.202	425.850	821.052	トラス斜鉛直材
	小 計		1099.355	1184.936	2284.291	
L型鋼	SS400	75×75×6	43.585	47.197	90.782	横 溝
平 鋼	SS400	100×6	50.760	54.720	105.480	床版横桁
	小 計		94.345	101.917	196.262	
縞鋼板	SS400	t = 4.5	260.856	281.304	542.160	床版
	小 計		260.856	281.304	542.160	
鋼 板	SS400	t = 22	6.076	6.634	12.710	シュー
		t = 12	8.047	8.710	16.757	ガセット
		t = 8	85.162	91.837	176.999	ガセット
		t = 6	19.164	20.688	39.852	
	小 計		118.449	127.869	246.318	
鋼 管	STK400	φ42.7	19.285	20.794	40.079	高欄
高 力 ボルト	F8T	M22 (kg)	94.415	101.732	196,147	トラス結合
		M22 (本)	179,990	193.946	373,936	
		M16 (kg)	10,477	11,293	21,770	床版固定
		M16 (本)	55,751	60,104	115,855	
ボルトナット ワッシャー	SS400	M16 (kg)	1,594	1,717	3,311	
		M16 (本)	10,152	10,944	21,096	
Uボルト	SS400	32C (kg)	0,423	0,456	879	
ボルト ワッシャー	SS400	M24 (kg)	0,294	0,321	615	
		M24 (本)	0,392	0,428	820	
アンカー ボルト	SS400	M24 (kg)	1,078	1,177	2,255	シューアンカー
		M24 (本)	0,784	0,856	1,640	
棒 鋼	SS400	φ16mm (kg)	0,588	0,642	1,230	シューアンカー
鋼材重量合計			1701.159	1834.158	3535.317	

本計画に含まれる架設工具の詳細については第4.1.2項 橋梁架設計画に述べる。



5) 下部工、附帯工の概略設計

協力対象橋梁75橋について、水文区分上でみると河川本流に架かる41橋、集水地河川に架かる34橋がある。図3.3.2-1“水文解析対象橋梁一覧”参照。

これ等の地域に分布している下部構造物（橋台、橋脚、基礎工）、附帯工について詳細設計上考慮すべき点を表3.3.5-8に示す。

表 3.3.5-8 下部工、附帯工の設計で考慮すべき点

工 種		水 文 区 分	
		河 川 本 流	集 水 地 河 川
橋 台 工		洪水時の流水圧、浮力および地震時の動水圧を考慮する。	河川本流上と同じ
橋 脚 工	フーチング 付 橋 脚	洪水時および常時における浮力および地震時の水平力、上部工の温度差による水平力を考慮する。	河川本流上と同じ
	ハイルバント 橋 脚	基礎工と一帯構造として地震時の水平力、洪水時および常時の浮力、上部工の温度差による水平力を考慮する。	河川本流上と同じ
基 礎 工		河底の堆積層厚を1.5m程度想定して設計地盤面を仮定する（土質調査による）	河川本流の場合よりも堆積層厚が厚いものと想定して設計地盤面を仮定する（土質調査による）
附 帯 工	護 岸 工	橋台前面の洗掘を防止するため護岸工を設ける。	河川本流上と違い洗掘は少ない
	取 付 道 路	法面の崩壊を防止する構造とする（芝張りが効果的）	河川本流上と同じ

6) 橋梁建設工事数量

計画対象橋梁の表3.3.5-7 橋梁略図一覧表に示す各橋の構造物計画に基づき、概算した本計画の橋梁建設および付帯工事の工事数量は表3.3.5-5のとおりである。

表 3.3.5-7 橋梁略図一覽表 (1/8)

番号	県名	橋梁数	橋梁番号	夕大名	略図構造図	上部工	下部工		取付道路 (m)	護岸 (m <sup>2</sup> )	備考
							橋台/橋脚	杭			
1	Dhaka	1	01-01-01	Savar		L = 50 m W = 40.150 ton	A1 : H = 9.0 m P1 : H = 7.7 m A2 : H = 9.6 m	A1 : 9.5 x 12 P1 : 15.0 x 3 A2 : 7.5 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 180 L: 144	
2	Dhaka	2	01-01-02	Savar		L = 100 m W = 80.300 ton	A1 : H = 7.5 m P2 : H = 7.8 m A2 : H = 3.0 m	A1 : 9.0 x 12 P2 : 13.5 x 3 A2 : 7.5 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 108.2 L: 108.2	P1 : H = 7.3 m (14m) P3 : H = 6.5 m (6.5m)
3	Dhaka	3	01-01-03	Savar		L = 120 m W = 96.612 ton	A1 : H = 5.5 m P1 : H = 3.2 m A2 : H = 4.0 m	A1 : 14.0 x 12 P1 : 15.0 x 3 A2 : 10.5 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: ----- L: -----	P2 : H = 3.2 m (15m) P3 : H = 3.2 m (15m) P4 : H = 2.0 m (15m) P5 : H = 1.0 m (13m)
4	Dhaka	4	01-02-01	Dhamrai		L = 90 m W = 72.354 ton	A1 : H = 5.6 m P2 : H = 5.2 m A2 : H = 5.6 m	A1 : 11.0 x 12 P2 : 14.0 x 3 A2 : 10.0 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: ----- L: -----	P1 : H = 4.0 m (15m) P3 : H = 5.0 m (15m)
5	Dhaka	5	01-04-01	Nawabgonj		L = 75 m W = 60.225 ton	A1 : H = 5.0 m P1 : H = 7.6 m A2 : H = 4.0 m	A1 : 12.0 x 12 P1 : 10.0 x 9 A2 : 7.0 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: ----- L: -----	P2 : H = 7.6 m (7.5m)
6	Gazipur	1	02-00-02	Sadar		L = 50 m W = 40.150 ton	A1 : H = 5.0 m P1 : H = 9.2 m A2 : H = 5.0 m	A1 : 9.0 x 12 P1 : 10.0 x 9 A2 : 11.0 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 40.0 L: 20.0	
7	Gazipur	2	02-02-02	Kaligonj		L = 60 m W = 48.306 ton	A1 : H = 5.0 m P2 : H = 6.9 m A2 : H = 6.0 m	A1 : 13.0 x 12 P2 : 15.0 x 3 A2 : 10.5 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 120.0 L: 80.0	P1 : H = 4.0 m (15m)
8	Munshigonj	1	03-01-01	Sadar		L = 40 m W = 32.204 ton	A1 : H = 4.9 m P1 : H = 5.8 m A2 : H = 4.9 m	A1 : 13.0 x 12 P1 : 16.0 x 3 A2 : 13.0 x 12	R: 20.0 L: 10.0	R: ----- L: 20.0	
9	Munshigonj	2	03-02-01	Shirajdhikhan		L = 80 m W = 64.408 ton	A1 : H = 5.6 m P2 : H = 7.4 m A2 : H = 5.6 m	A1 : 10.5 x 12 P2 : 14.0 x 9 A2 : 11.0 x 12	R: 10.0 L: 10.0	R: ----- L: -----	P1 : H = 5.0 m (14m) P3 : H = 4.8 m (14m)
10	Munshigonj	3	03-03-01	Gazaria		L = 100 m W = 80.300 ton	A1 : H = 4.6 m P1 : H = 7.9 m A2 : H = 8.8 m	A1 : 13.5 x 12 P1 : 16.0 x 3 A2 : 13.5 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 70.0 L: 180.0	P2 : H = 7.5 m (16m) P3 : H = 5.5 m (17m)

表 3.3.5-7 橋梁略図一覽表 (2/8)

番号	県名	橋梁数	橋梁番号	夕十名	略図構造図	上部工	下部工		取付道路 (m)	護岸 (m <sup>2</sup> )	備考
							橋台/橋脚	杭			
11	Munshigonj	4	03-03-02	Gazaria		L = 80 m W = 64.408 ton	A1 : H = 3.0 m P1 : H = 7.8 m A2 : H = 3.5 m	R: 20.0 L: 20.0	R: ---- L: ----	P2 : H = 7.3 m (9.0m) P3 : H = 5.0 m (6.0m)	
12	Munshigonj	5	03-05-01	Lohajong		L = 50 m W = 40.150 ton	A1 : H = 6.0 m P1 : H = 9.0 m A2 : H = 5.0 m	R: 20.0 L: 20.0	R: 10.0 L: 60.0		
13	Munshigonj	6	03-06-01	Sreenagar		L = 35 m W = 28.231 ton	A1 : H = 4.9 m P1 : H = 6.5 m A2 : H = 3.7 m	R: 20.0 L: 20.0	R: 10.0 L: 70.0		
14	Habigonj	1	04-00-01	Bahubal		L = 30 m W = 24.258 ton	A1 : H = 4.9 m P1 : H = 9.5 m A2 : H = 4.9 m	R: 20.0 L: 20.0	R: 220.0 L: 200.0		
15	Habigonj	2	04-02-01	Madhabpur		L = 75 m W = 60.225 ton	A1 : H = 4.9 m P1 : H = 7.3 m A2 : H = 6.7 m	R: 20.0 L: 20.0	R: 110.0 L: 110.0	P2 : H = 7.0 m (14.7m)	
16	Habigonj	3	04-04-01	Nabigonj		L = 65 m W = 52.279 ton	A1 : H = 5.7 m P1 : H = 8.6 m A2 : H = 5.7 m	R: 20.0 L: 20.0	R: 40.0 L: 40.0	R: ---- L: 120.0	P2 : H = 6.3 m (15.0m)
17	Habigonj	4	04-04-02	Nabigonj		L = 90 m W = 72.354 ton	A1 : H = 5.6 m P1 : H = 11.7 m A2 : H = 5.6 m	R: 10.0 L: 20.0	R: 100.0 L: 100.0	P2: H = 10.4 m (13.6m) P3 : H = 6.5 m (12.3m)	
18	Habigonj	5	04-06-01	Baniachang		L = 40 m W = 32.204 ton	A1 : H = 4.9 m P1 : H = 8.2 m A2 : H = 4.9 m	R: 20.0 L: 20.0	R: 100.0 L: 150.0		P1 : H = 7.2 m (6.5m)
19	Moulvibazar	1	05-01-01	Komolgonj		L = 75 m W = 60.225 ton	A1 : H = 4.9 m P2 : H = 13.0 m A2 : H = 4.9 m	R: 20.0 L: 20.0	R: ---- L: 150.0		P2 : H = 7.5 m (13.0m)
20	Moulvibazar	2	05-01-02	Komolgonj		L = 60 m W = 48.306 ton	A1 : H = 3.9 m P1 : H = 8.2 m A2 : H = 3.9 m	R: 20.0 L: 20.0	R: ---- L: 30.0		

表 3.3.5-7 橋梁略図一覽表 (3/8)

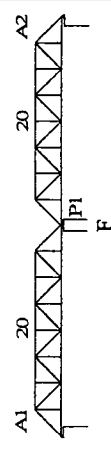
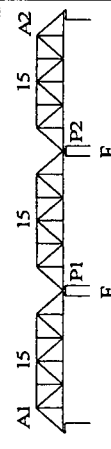
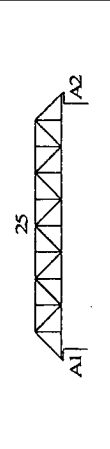
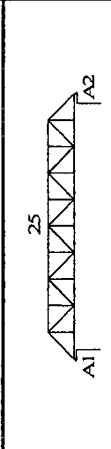
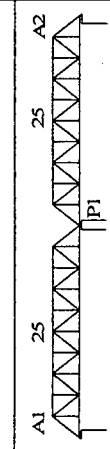
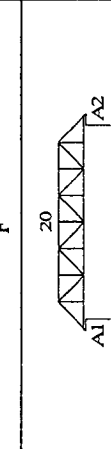
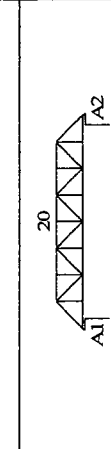
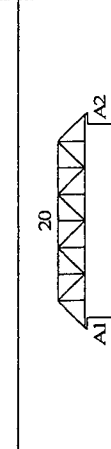
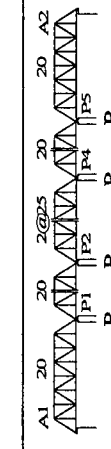
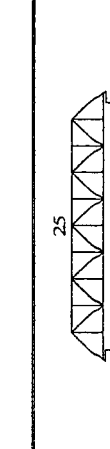
番号	県	橋梁名	橋梁数	橋梁番号	タナ名	略図構造図	上部工	下部工		取付道路 (m)	護岸工 (m <sup>2</sup> )	備考
								橋台/橋脚	杭			
21	Moulvibazar		3	05-03-02	Sreenagar		L = 40 m W = 32.204 ton	A1 : H = 4.9 m P1 : H = 4.9 m A2 : H = 4.9 m	A1 : 9.0 x 12 P1 : 8.0 x 9 A2 : 7.0 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 10.0 L: -----	
22	Moulvibazar		4	05-04-01	Barlekha		L = 45 m W = 36.387 ton	A1 : H = 4.9 m P2 : H = 10.0 m A2 : H = 4.9 m	A1 : 12.0 x 12 P2 : 13.0 x 9 A2 : 12.0 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 80.0 L: -----	P1 : H = 10.0 m (12m)
23	Moulvibazar		5	05-05-01	Rajnagar		L = 25 m W = 20.075 ton	A1 : H = 6.0 m A2 : H = 6.0 m	A1 : 10.0 x 12 A2 : 10.0 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 100.0 L: 100.0	
24	Chandpur		1	06-01-02	Sadar		L = 25 m W = 20.075 ton	A1 : H = 4.8 m A2 : H = 4.8 m	A1 : 5.0 x 12 A2 : 5.0 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 120.0 L: 130.0	
25	Chandpur		2	06-02-01	Faridgonj		L = 50 m W = 40.150 ton	A1 : H = 4.9 m P1 : H = 6.8 m A2 : H = 4.9 m	A1 : 13.5 x 12 P1 : 14.0 x 9 A2 : 13.5 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: ----- L: -----	
26	Chandpur		3	06-03-02	Kachua		L = 20 m W = 16.102 ton	A1 : H = 4.8 m A2 : H = 4.8 m	A1 : 12.0 x 12 A2 : 12.0 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: ----- L: 110.0	
27	Chandpur		4	06-04-01	Matlab		L = 20 m W = 16.102 ton	A1 : H = 6.0 m A2 : H = 6.0 m	A1 : 12.0 x 12 A2 : 12.0 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 100.0 L: 90.0	
28	Chandpur		5	06-06-01	Shahrasti		L = 20 m W = 16.102 ton	A1 : H = 7.0 m A2 : H = 6.8 m	A1 : 11.0 x 12 A2 : 11.0 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 160.0 L: 160.0	
29	Chandpur		6	06-06-02	Shahrasti		L = 130 m W = 104.558 ton	A1 : H = 5.5 m P2 : H = 8.0 m A2 : H = 7.0 m	A1 : 15 x 12 P2 : 16 x 3 A2 : 15 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 40.0 L: 110.0	P1 : H = 6.0 m (17 m) P3 : H = 7.0 m (17 m) P4 : H = 5.0 m (17.5 m) P5 : H = 4.5 m (17 m)
30	B. Baria		1	07-01-01	Akhaura		L = 25 m W = 20.075 ton	A1 : H = 6.6 m A2 : H = 7.5 m	A1 : 11.0 x 12 A2 : 11.0 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 170.0 L: 140.0	

表 3.3.5-7 橋梁略圖一覽表 (4/8)

番号	県名	橋梁数	橋梁番号	夕名	略圖構造図	上部工	下部工		取付道路 (m)	護岸 (m <sup>2</sup> )	備考
							橋台/橋脚	杭			
31	B. Baria	2	07-03-01	Nabinagar		L = 25 m W = 20.075 ton	A1 : H = 4.8 m A2 : H = 4.8 m	A1 : 10.0 x 12 A2 : 10.0 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: ----- L: -----	
32	B. Baria	3	07-03-02	Nabinagar		L = 35 m W = 28.231 ton	A1 : H = 4.8 m P1 : H = 9.4 m A2 : H = 4.8 m	A1 : 12.0 x 12 P1 : 8.0 x 9 A2 : 12.0 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: ----- L: 180.0	
33	B. Baria	4	07-04-01	Sarail		L = 45 m W = 36.387 ton	A1 : H = 4.8 m P1 : H = 6.9 m A2 : H = 4.8 m	A1 : 10.0 x 12 P1 : 11.0 x 9 A2 : 10.0 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: ----- L: -----	P2 : H = 6.5 m (6.0m)
34	B. Baria	5	07-04-02	Sarail		L = 40 m W = 32.204 ton	A1 : H = 4.8 m P1 : H = 8.0 m A2 : H = 6.2 m	A1 : 13.0 x 12 P1 : 12.0 x 9 A2 : 13.0 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 120.0 L: 30.0	
35	B. Baria	6	07-05-01	Bancharampur		L = 25 m W = 20.075 ton	A1 : H = 4.8 m A2 : H = 6.4 m	A1 : 12.0 x 12 A2 : 12.0 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 140.0 L: 50.0	
36	B. Baria	7	07-05-03	Bancharampur		L = 40 m W = 32.204 ton	A1 : H = 4.8 m P1 : H = 5.8 m A2 : H = 4.8 m	A1 : 12.0 x 12 P1 : 12.0 x 9 A2 : 12.0 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 34.0 L: 34.0	
37	B. Baria	8	07-06-01	Nasirnagar		L = 60 m W = 48.306 ton	A1 : H = 4.8 m P1 : H = 7.8 m A2 : H = 4.8 m	A1 : 13.5 x 12 P1 : 15.0 x 9 A2 : 14.5 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 40.0 L: -----	P2 : H = 8.0 m (14.5m)
38	B. Baria	9	07-06-02	Nasirnagar		L = 60 m W = 48.306 ton	A1 : H = 6.5 m P1 : H = 11.3 m A2 : H = 4.8 m	A1 : 14.5 x 12 P1 : 8.5 x 9 A2 : 15.0 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 60.0 L: 100.0	P2 : H = 8.5 m (10m)
39	B. Baria	10	07-06-03	Nasirnagar		L = 75 m W = 60.225 ton	A1 : H = 4.8 m P1 : H = 6.5 m A2 : H = 4.2 m	A1 : 12.0 x 12 P1 : 15.0 x 9 A2 : 6.0 x 12	R: 20.0 L: 10.0	R: ----- L: -----	P2 : H = 6.5 m (15.0m)
40	B. Baria	11	07-06-04	Nasirnagar		L = 50 m W = 40.150 ton	A1 : H = 4.9 m P1 : H = 6.8 m A2 : H = 4.9 m	A1 : 13.5 x 12 P1 : 15.0 x 9 A2 : 14.5 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 30.0 L: 0.0	

表 3.3.5-7 橋梁略図一覽表 (5/8)

番号	県名	橋梁数	橋梁番号	夕大名	略図構造図	上部工	下部工		取付道路 (m)	護岸 (m <sup>2</sup> )	備考
							橋台/橋脚	杭			
41	B. Baria	12	07-07-02	Sadar		L = 25 m W = 20.075 ton	A1 : H = 4.8 m A2 : H = 4.8 m	A1 : 3.5 x 12 A2 : 6.0 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: ---- L: ----	
42	Comilla	1	08-01-02	Choddogram		L = 100 m W = 80.300 ton	A1 : H = 4.9 m P2 : H = 3.9 m A2 : H = 4.9 m	A1 : 11.0 x 12 P2 : 18.0 x 3 A2 : 14.5 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: ---- L: ----	P1 : H = 3.0 m (16m) P3 : H = 3.5 m (18m)
43	Comilla	2	08-02-01	Chandina		L = 25 m W = 20.075 ton	A1 : H = 7.9 m A2 : H = 6.8 m	A1 : 10.0 x 12 A2 : 10.0 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 140.0 L: 160.0	
44	Noakhali	1	09-01-01	Sadar		L = 45 m W = 36.387 ton	A1 : H = 4.9 m P1 : H = 3.5 m A2 : H = 4.9 m	A1 : 8.0 x 12 P1 : 12.0 x 3 A2 : 10.5 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: ---- L: ----	P2 : H = 2.5 m (15.5m)
45	Noakhali	2	09-01-02	Sadar		L = 90 m W = 72.354 ton	A1 : H = 5.6 m P1 : H = 3.5 m A2 : H = 5.6 m	A1 : 7.5 x 12 P1 : 13.0 x 3 A2 : 11.0 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 20.0 L: 20.0	P2 : H = 5.5 m (13m) P3 : H = 3.0 m (14m)
46	Noakhali	3	09-03-01	Companigonj		L = 80 m W = 64.408 ton	A1 : H = 5.6 m P3 : H = 5.6 m A2 : H = 5.6 m	A1 : 10.5 x 12 P3 : 12.5 x 9 A2 : 12.5 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: ---- L: ----	P1 : H = 4.5 m (9.5m) P2 : H = 4.5 m (10.0m)
47	Lakshmipur	1	10-01-01	Sadar		L = 60 m W = 48.306 ton	A1 : H = 4.9 m P1 : H = 7.4 m A2 : H = 4.9 m	A1 : 7.0 x 12 P1 : 11.0 x 3 A2 : 7.0 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: ---- L: ----	P2 : H = 7.2 m (11m)
48	Lakshmipur	2	10-01-02	Sadar		L = 45 m W = 36.387 ton	A1 : H = 4.9 m P1 : H = 5.9 m A2 : H = 4.9 m	A1 : 7.5 x 12 P1 : 11.0 x 3 A2 : 6.5 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: ---- L: 60.0	P2 : H = 5.0 m (11.0m)
49	Lakshmipur	3	10-01-03	Sadar		L = 45 m W = 36.387 ton	A1 : H = 4.9 m P1 : H = 5.5 m A2 : H = 4.9 m	A1 : 8.5 x 12 P1 : 11.0 x 3 A2 : 10.5 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: ---- L: 30.0	P2 : H = 5.0 m (11m)
50	Lakshmipur	4	10-02-01	Ramgonj		L = 20 m W = 16.102 ton	A1 : H = 4.9 m A2 : H = 4.9 m	A1 : 11.0 x 12 A2 : 11.0 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 50.0 L: ----	

表3.3.5-7 橋梁略圖一覽表 (6/8)

番号	県名	橋梁数	橋梁番号	夕ナ名	略圖構造図	上部工	下部工		取付道路 (m)	護岸工 (m <sup>2</sup> )	備考
							橋台/橋脚	杭			
51	Lakshmipur	5	10-02-03	Ramgonj		L = 30 m W = 24.258 ton	A1 : H = 4.8 m P1 : H = 6.2 m A2 : H = 4.8 m	A1 : 7.0 x 12 P1 : 10.0 x 3 A2 : 7.0 x 12	R: 20.0 L: 10.0	R: 20.0 L: 50.0	
52	Lakshmipur	6	10-02-04	Ramgonj		L = 20 m W = 16.102 ton	A1 : H = 4.8 m A2 : H = 4.8 m	A1 : 10.0 x 12 A2 : 10.0 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 10.0 L: 20.0	
53	Lakshmipur	7	10-03-01	Ramgoti		L = 80 m W = 64.408 ton	A1 : H = 5.5 m P2 : H = 6.5 m A2 : H = 5.5 m	A1 : 8.0 x 12 P2 : 8.0 x 9 A2 : 8.5 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: ----- L: 20.0	P1 : H = 5.0 m (12m) P3 : H = 6.0 m (10m)
54	Narshingdi	1	11-01-01	Sadar		L = 40 m W = 32.204 ton	A1 : H = 4.8 m P1 : H = 6.8 m A2 : H = 4.8 m	A1 : 8.0 x 12 P1 : 9.0 x 9 A2 : 9.0 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 14.0 L: 60.0	
55	Narshingdi	2	11-01-02	Sadar		L = 65 m W = 52.279 ton	A1 : H = 4.8 m P1 : H = 7.0 m A2 : H = 4.8 m	A1 : 8.0 x 12 P1 : 11.0 x 3 A2 : 7.5 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: ----- L: -----	P2 : H = 6.5 m (11m)
56	Narshingdi	3	11-01-07	Sadar		L = 25 m W = 20.075 ton	A1 : H = 7.0 m A2 : H = 7.0 m	A1 : 12.0 x 12 A2 : 12.0 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 150.0 L: 240.0	
57	Narshingdi	4	11-02-01	Monohardi		L = 75 m W = 60.225 ton	A1 : H = 5.5 m P1 : H = 6.7 m A2 : H = 4.8 m	A1 : 9.0 x 12 P1 : 9.0 x 9 A2 : 7.0 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: ----- L: 100.0	P2 : H = 7.0 m (9.0m)
58	Narshingdi	5	11-02-04	Monohardi		L = 30 m W = 24.258 ton	A1 : H = 4.8 m P1 : H = 5.7 m A2 : H = 4.8 m	A1 : 8.0 x 12 P1 : 10.0 x 9 A2 : 5.0 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: ----- L: 30.0	
59	Narshingdi	6	11-03-01	Shibpur		L = 100 m W = 80.300 ton	A1 : H = 6.7 m P1 : H = 7.6 m A2 : H = 6.7 m	A1 : 8.0 x 12 P1 : 7.0 x 3 A2 : 7.5 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 120.0 L: 100.0	P2 : H = 11.0 m (6.0) P3 : H = 9.0 m (6.0)
60	Faridpur	1	12-01-02	Alfadanga		L = 50 m W = 40.150 ton	A1 : H = 5.0 m P1 : H = 5.8 m A2 : H = 5.0 m	A1 : 11.0 x 12 P1 : 12.0 x 3 A2 : 12.0 x 12	R: 20.0 L: 20.0	R: ----- L: -----	

表 3.3.5-7 橋梁略図一覽表 (7/8)

番号	県名	橋梁数	橋梁番号	夕ナ名	略図構造図	上部工	下部工		取付道路 (m)	護岸工 (m <sup>2</sup> )	備考
							橋台/橋脚	杭			
61	Faridpur	2	12-02-01	Boalmari		L = 75 m W = 60.225 ton	A1 : H = 4.8 m P1 : H = 9.5 m A2 : H = 4.8 m	A1 : 10.0 × 12 P1 : 7.0 × 3 A2 : 9.5 × 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 70.0 L: 180.0	P2 : H = 7.0 m (9.5)
62	Faridpur	3	12-02-02	Boalmari		L = 75 m W = 60.225 ton	A1 : H = 4.8 m P2 : H = 6.7 m A2 : H = 4.8 m	A1 : 8.5 × 12 P2 : 12.0 × 3 A2 : 9.5 × 12	R: 20.0 L: 20.0	R: ----- L: -----	P1 : H = 4.0 m (12.0)
63	Faridpur	4	12-04-01	Sadarpur		L = 65 m W = 52.279 ton	A1 : H = 4.8 m P1 : H = 9.0 m A2 : H = 4.8 m	A1 : 6.5 × 12 P1 : 12.0 × 3 A2 : 6.5 × 12	R: 10.0 L: 10.0	R: ----- L: 180.0	P2 : H = 4.5 m (12.0)
64	Faridpur	5	12-05-01	Charbhadrason		L = 25 m W = 20.075 ton	A1 : H = 4.8 m A2 : H = 4.8 m	A1 : 10.0 × 12 A2 : 9.0 × 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 50.0 L: 60.0	
65	Chittagong	1	13-01-01	Anowara		L = 25 m W = 20.075 ton	A1 : H = 4.8 m A2 : H = 4.8 m	A1 : 10.0 × 12 A2 : 10.0 × 12	R: 20.0 L: 20.0	R: ----- L: -----	
66	Chittagong	2	13-01-02	Anowara		L = 50 m W = 40.150 ton	A1 : H = 4.8 m P1 : H = 8.4 m A2 : H = 4.8 m	A1 : 12.0 × 12 P1 : 13.0 × 9 A2 : 12.0 × 12	R: 20.0 L: 20.0	R: ----- L: -----	
67	Chittagong	3	13-01-03	Anowara		L = 25 m W = 20.075 ton	A1 : H = 4.8 m A2 : H = 4.8 m	A1 : 11.0 × 12 A2 : 11.0 × 12	R: 20.0 L: 20.0	R: ----- L: -----	
68	Chittagong	4	13-02-01	Banshkhali		L = 100 m W = 80.300 ton	A1 : H = 4.8 m P2 : H = 8.3 m A2 : H = 4.8 m	A1 : 10.0 × 12 P2 : 10.5 × 3 A2 : 11.0 × 12	R: 20.0 L: 20.0	R: ----- L: -----	P1 : H = 4.5 m (12.0) P3 : H = 3.5 m (13.5)
69	Chittagong	5	13-02-02	Banshkhali		L = 65 m W = 52.279 ton	A1 : H = 4.8 m P2 : H = 6.5 m A2 : H = 4.8 m	A1 : 12.0 × 12 P2 : 28.0 × 3 A2 : 13.0 × 12	R: 20.0 L: 20.0	R: ----- L: -----	P1 : H = 5.0 m (14.0)
70	Chittagong	6	13-02-03	Banshkhali		L = 30 m W = 24.258 ton	A1 : H = 4.8 m P1 : H = 5.7 m A2 : H = 4.8 m	A1 : 11.0 × 12 P1 : 12.0 × 9 A2 : 11.0 × 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 60.0 L: 40.0	



表 3.3.5-7 橋梁略図一覽表 (8/8)

番号	県名	橋梁数	橋梁番号	夕大名	略図構造図	上部工	下部工		取付道路 (m)	護岸 (m <sup>2</sup> )	備考
							橋台/橋脚	杭			
71	Cox's Bazar	1	14-01-01	Chokoria		L = 65 m W = 52.279 ton	A1 : H = 4.8 m P1 : H = 5.7 m A2 : H = 4.8 m	A1 : 9.5 × 12 P1 : 11.0 × 9 A2 : 10.0 × 12	R: 20.0 L: 20.0	R: ---- L: 20.0	P2 : H = 5.5 m (11.5)
72	Kishoregonj	1	15-01-01	Kuliarchar		L = 125 m W = 100.375 ton	A1 : H = 6.0 m P2 : H = 7.0 m A2 : H = 8.3 m	A1 : 14.0 × 12 P2 : 13.0 × 3 A2 : 8.0 × 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 100.0 L: 110.0	P1 : H = 6.5 m (11.5) P3 : H = 7.0 m (9.0) P4 : H = 6.0 m (9.5)
73	Kishoregonj	2	15-01-02	Kuliarchar		L = 30 m W = 24.258 ton	A1 : H = 5.5 m P1 : H = 7.1 m A2 : H = 4.8 m	A1 : 11.0 × 12 P1 : 9.0 × 9 A2 : 11.0 × 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 90.0 L: 30.0	
74	Kishoregonj	3	15-01-03	Kuliarchar		L = 25 m W = 20.075 ton	A1 : H = 7.1 m A2 : H = 7.1 m	A1 : 7.5 × 12 A2 : 7.5 × 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 160.0 L: 160.0	
75	Kishoregonj	4	15-02-01	Karimgonj		L = 45 m W = 36.387 ton	A1 : H = 4.8 m P2 : H = 7.5 m A2 : H = 4.8 m	A1 : 12.0 × 12 P2 : 10.0 × 9 A2 : 6.5 × 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 80.0 L: ----	P1 : H = 7.0 m (9.0)
76	Kishoregonj	5	15-03-01	Bajitpur		L = 30 m W = 24.258 ton	A1 : H = 4.8 m P1 : H = 6.6 m A2 : H = 4.8 m	A1 : 10.5 × 12 P1 : 9.0 × 9 A2 : 11.0 × 12	R: 20.0 L: 20.0	R: ---- L: 50.0	
77	Kishoregonj	6	15-03-02	Bajitpur		L = 90 m W = 72.354 ton	A1 : H = 5.6 m P2 : H = 9.0 m A2 : H = 5.6 m	A1 : 8.0 × 12 P2 : 10.0 × 9 A2 : 9.0 × 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 20.0 L: 60.0	P1 : H = 9.3 m (9.0) P3 : H = 8.0 m (9.0)
78	Manikgonj	1	16-01-01	Daulatpur		L = 40 m W = 32.204 ton	A1 : H = 8.3 m P1 : H = 9.9 m A2 : H = 6.5 m	A1 : 8.0 × 12 P1 : 15.0 × 3 A2 : 11.0 × 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 320.0 L: 320.0	
79	Manikgonj	2	16-01-02	Daulatpur		L = 40 m W = 32.204 ton	A1 : H = 5.5 m P1 : H = 6.3 m A2 : H = 6.5 m	A1 : 12.0 × 12 P1 : 15.0 × 3 A2 : 12.0 × 12	R: 20.0 L: 20.0	R: 100.0 L: 80.0	
80	Manikgonj	3	16-01-03	Daulatpur		L = 100 m W = 80.300 ton	A1 : H = 4.9 m P2 : H = 9.5 m A2 : H = 4.9 m	A1 : 12.0 × 12 P2 : 8.0 × 3 A2 : 12.0 × 12	R: 20.0 L: 20.0	R: ---- L: 180.0	P1 : H = 8.0 m (9.0) P3 : H = 8.3 m (8.5)

### 3.4. プロジェクト実施体制

#### 3.4.1 組織

本計画の実施機関は、地方自治・農村開発協同組合省地方政府技術局（LGED）である。LGEDは、1992年8月に地方自治・農村開発協同組合省下の地方政府技術部から格上げされ新たに設立された組織である。

LGEDは、現在約9,500名の職員で構成されており、地方組織として全国に64の県事務所（District）および各県内に計460の郡事務所（Thana）を持っている。LGED組織図を表3.4-1に示す。

LGEDの主な事業内容は、地方の自治体が実施するインフラ整備事業への技術支援の他に、同省の予算および外国の援助資金で実施される地方のインフラ整備を主目的とした数々の地方開発計画の実施、地方のインフラ整備のための技術基準、マニュアルの作成およびトレーニングの実施である。また、1992年に維持管理部が新設され、全国のLGED管轄の地方道路のメンテナンスを担当している。

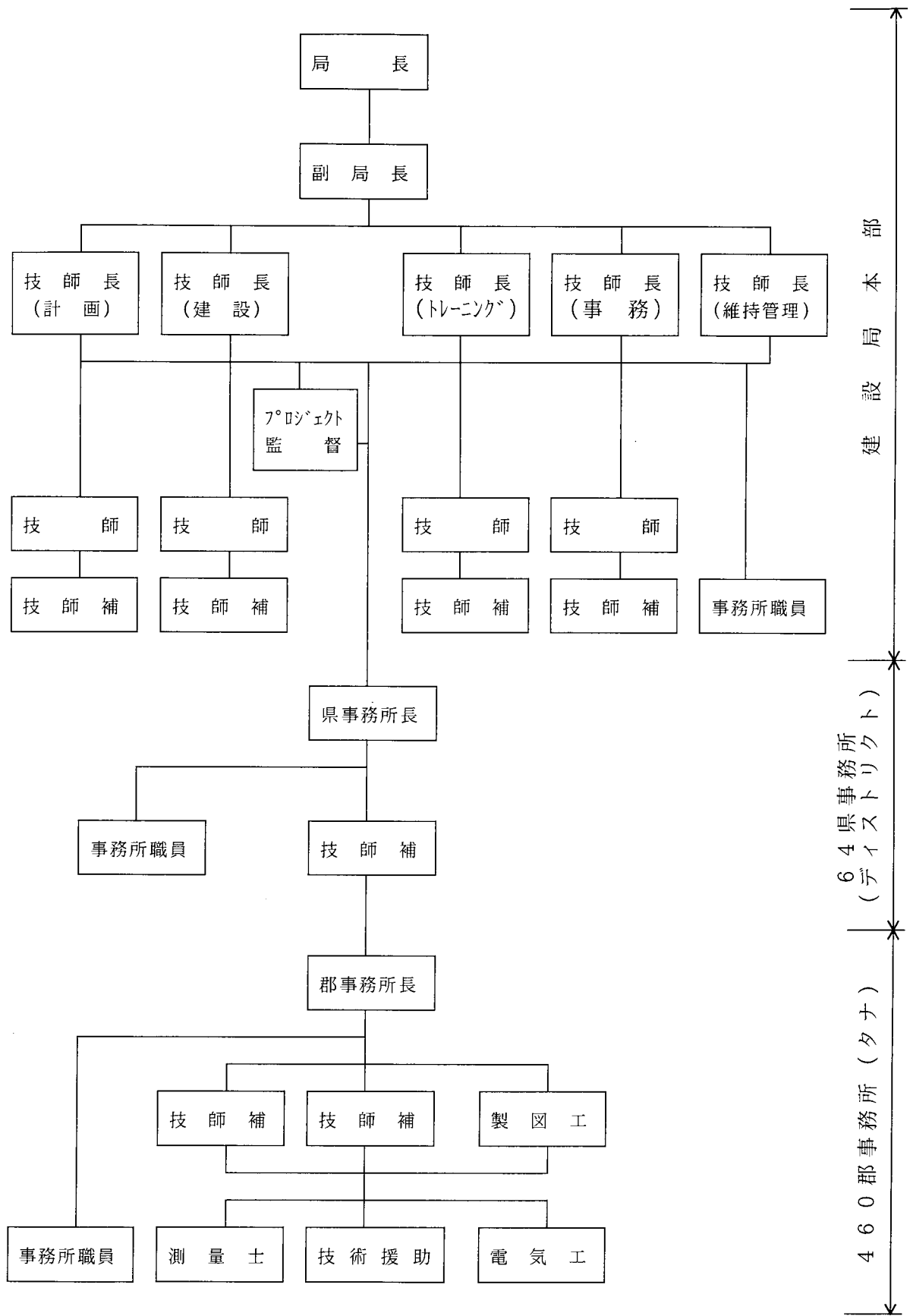


表 3.4-1 L G E D 組織図

### 3.4.2 予 算

本計画に係るバングラデシュ国側の負担経費の予算措置については2.1.4項で述べたとおり、バングラデシュ国政府のLGED分年間開発費予算から支出される。1999～2000年度のLGEDの年間開発費予算は、65件総額180億タカであり、その内訳は下記のとおりである。

1999～2000年度 LGED年間開発費予算内訳

項 目	プロジェクト数	予算額 (百万タカ)
・ 地方開発公共事業	40	12,044
・ 水供給、住宅	7	1,780
・ 農業開発	8	535
・ チッタゴン丘陵地域開発	1	20
・ 食糧援助	3	782
・ 小学校建設	6	2,860
計	65	18,021

出 所 : LGED

本計画は、地方開発公共事業の一環として行うこととなる。地方開発公共事業では、本計画の地方道路橋梁整備の他に道路建設、地方中核点開発、市場開発、小規模水資源開発などが行われている。

### 3.4.3 要員・技術レベル

本件の実施に当たっては、日本の無償資金協力によって橋梁上部工の資機材が調達された後、バングラデシュ国側より実施設計および橋梁建設、施工管理が行われている。前回の平成6～8年度「地方道路簡易橋建設計画」において、すでに全74橋の簡易橋が架設・施工済である。設計・施工管理は、バングラデシュ国側実施機関のLGEDとの契約によるバングラデシュ国内の民間コンサルタントがその業務を遂行し、また、橋梁建設はLGED県事務所がそれぞれの橋梁ごとに入札を行い、民間建設業者へ発注し工事を行った。

このようにLGEDは、直営の工事は行わず本件については、設計・施工管理、橋梁建設の主要業務を民間へ発注している。これら国内の民間技術レベルについて、本件のような簡易橋程度の規模の工事については、前回の完成結果から一様対応ができる状況であると判断される。

なお、上部工の架設については、前回の実施段階において日本側の技術指導の一環として、2回にわけて現地でLGED担当技術者および民間業者を対象に架設トレーニングを実施し、その成果が十分に発揮されている。